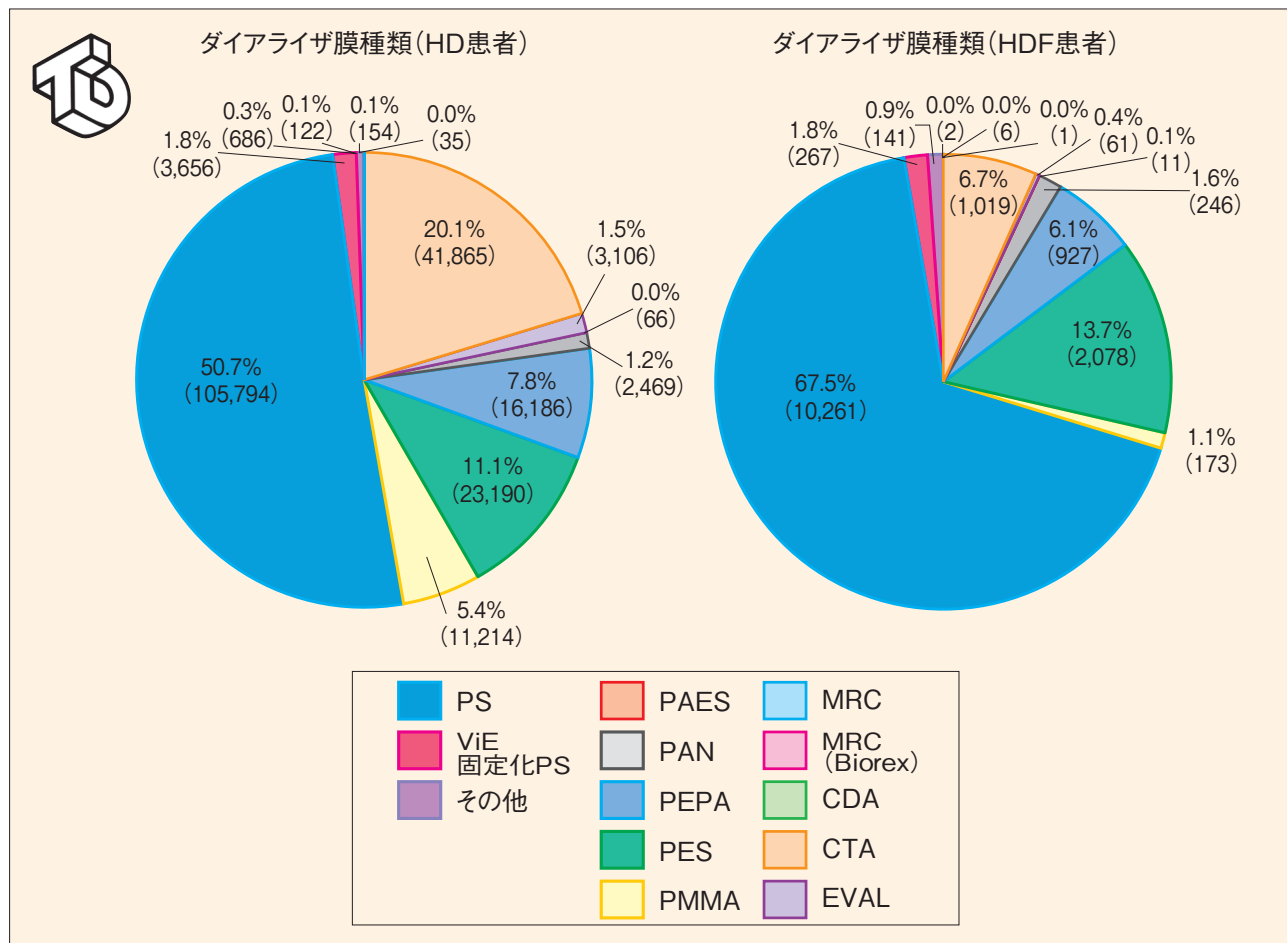


## 2) 血液透析条件の現況

### (4) 透析条件の実態4 (ダイアライザ膜種類) (図表29)



ダイアライザ膜種類	MRC	MRC (Biorex)	CDA	CTA	EVAL	PAES	PAN	PEPA	PES
施設血液透析 (%)	122 (0.1)	154 (0.1)	35 (0.0)	41,865 (20.1)	3,106 (1.5)	66 (0.0)	2,469 (1.2)	16,186 (7.8)	23,190 (11.1)
血液濾過透析 (%)	2 (0.0)	6 (0.0)	1 (0.0)	1,019 (6.7)	61 (0.4)	11 (0.1)	246 (1.6)	927 (6.1)	2,078 (13.7)
合計 (%)	124 (0.1)	160 (0.1)	36 (0.0)	42,884 (19.2)	3,167 (1.4)	77 (0.0)	2,715 (1.2)	17,113 (7.6)	25,268 (11.3)
ダイアライザ膜種類	PMMA	PS	VIE 固定化PS	その他	合計	不明	記載なし	総計	
施設血液透析 (%)	11,214 (5.4)	105,794 (50.7)	3,656 (1.8)	686 (0.3)	208,543 (100.0)	5	4,260	212,808	
血液濾過透析 (%)	173 (1.1)	10,261 (67.5)	267 (1.8)	141 (0.9)	15,193 (100.0)		306	15,499	
合計 (%)	11,387 (5.1)	116,055 (51.9)	3,923 (1.8)	827 (0.4)	223,736 (100.0)	5	4,566	228,307	

患者調査による集計

#### 解説

HD患者ではダイアライザ膜種類は、PS膜が50.7%、CTA膜が20.1%、PES膜が11.1%、PEPA膜が7.8%、PMMA膜が5.4%であった。

HDF患者ではダイアライザ膜種類は、PS膜が67.5%、PES膜が13.7%、CTA膜が6.7%、PEPA膜が6.1%であった。HDF患者では、低分子タンパク除去能に優れる合成高分子膜であるPS膜やPES膜が多く用いられる傾向がみられた。